

令和4年度 収入支出予算概要

健康保険分 収入と支出の割合

毎月の給与と賞与から納めていただく健保組合の主要財源です。「基本保険料」は皆さまの医療費などに使われ、「特定保険料」は高齢者の医療費を支えるために使われます。



医療費の給付や出産、死亡時の手当金の給付などをするための費用です。

65～74歳の方が対象の前期高齢者医療制度への納付金と、75歳以上の方が対象の後期高齢者医療制度への支援金などです。

収入 (千円)		
経常	保険料収入	255,548
	利子収入	212
経常外	その他の収入	4,797
	調整保険料収入	4,453
	前年度繰越金	100,000
	別途積立金繰入	80,000
	その他の収入	25,045
	合計	470,055
経常収入合計		260,557

支出 (千円)		
経常	事務費	31,966
	保険給付費	204,358
経常外	納付金	164,041
	保健事業費	16,585
	その他の支出	2,936
	財政調整事業拠出金	4,452
	その他の支出	2
	予備費(残金)	45,715
合計		470,055
経常支出合計		419,886
経常収支		-159,329

経常収入合計 260,557 千円 — 経常支出合計 419,886 千円 = 経常収支差引額 ▲159,329 千円

介護保険分

収入合計54,443千円



40～64歳の被保険者が負担している介護保険の保険料です。

支出合計54,443千円



市区町村に介護保険の財源として配分するために健保組合が負担する納付金です。

保険料率について

●保険料率は一般保険料率、介護保険料率ともに据え置き

保険料収入につきましては社員数の減少や賞与の減額などにより健保財政としても厳しい状況ですが、別途積立金繰入や前年度の残金処分の繰越金で対応いたします。

介護保険料率についても健康保険料率と同様に、昨年の料率を維持いたします。昨年に比べ納付金の金額が大幅に下がっておりますので、現状維持した状態で準備金繰入することなく支払いすることができる見込みです。



当健保組合の令和4年度の予算総額は4億7,005万5千円となり、経常収支差引額は1億5,932万9千円の赤字となりました。厳しい健保財政の要因は、保険給付費や高齢者医療への拠出金などの義務的経費の増加です。新型コロナウイルスの感染拡大下では、受診控えにより保険給付費が一時的に減少しましたが、足元ではすでに医療は増加に転じています。給付費の伸びが保険料収入を上回る構造は変わっており、今後も高止まりが想定されます。高齢者医療への拠出金も、大幅に増加しており、厳しい財政状況となりました。令和4年度より団塊の世代が75歳に到達し始めることから、今後は後期高齢者医療への支援金

がさらに増加することが見込まれます。対策の一環として、一定以上所得のある後期高齢者の窓口負担の2割への引き上げが、令和4年10月から施行されることとなります。また、現役世代の負担軽減策としては不十分で、世代間の給付と負担の公平性のための踏み込んだ施策が求められます。新型コロナウイルスの感染拡大下で、受診控えや運動不足などにより、高血圧症や糖尿病などの生活習慣病が重症化する例が指摘されています。当健保組合では、これまでと同様に、特定診や特定保健指導の実施をはじめ、データヘルス計画に基づいた効果的な保健事業や事業主と連携したコラボヘルスの実施を通して、皆さまの健康増進・疾病予防に積極的に取り組んでまいります。皆さまにおかれましても、年に一度は必ず健診を受診いただき、生活習慣を見直し疾病予防に取り組んでいただくとともに、医療費の削減にご協力いただきますようお願いいたします。

令和4年度 予算のお知らせ

ジャヴァグループ健康保険組合の令和4年度の予算案が、去る2月17日開催の第59回組合会において可決承認されましたので、その概要をお知らせします。

**コロナ禍でも
効果的な保健事業で
皆さまの健康をサポートします**